

水土里レポート

投稿月日	全土連の投稿日に合わせてください
タイトル	蛍の幼虫放流会
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田明彦

令和5年10月24日に改良区管内小学校の岡山市立御休小学校5年生が地元水路に蛍の幼虫の放流を行い、学校にて水質検査の勉強を行いました。放流前に蛍の幼虫の説明を中国四国農政局農村環境課の職員よりわかりやすく説明をして頂きました。



農村環境課職員の説明

その後、実際の幼虫を観察してもらいきれいな川を守らないといけないということから、水路の中での清掃を行いました。



水路内清掃活動

水路内清掃後に蛍の幼虫の放流を行いました。放流後は、学校の理科室にて用水の水と謎の液体で水質検査を行いました。



蛍の幼虫



みんな一斉に放流

理科室での水質検査〈パックテスト〉

6班に分かれて蛍の幼虫が住む場所の水でまず検査(PH・リン酸・COD)を行いました。次に水道水に身近にある物を混ぜたらどれくらい変化するかを検査を行いました。



改良区職員による水質検査の説明



水質検査風景

水質検査の中で身近にある物を混ぜた水については、それぞれ検査薬の色が変わりみんな驚いていました。また、混ぜた物については、酢・洗剤・肥料などでした。身近な物を少し水に混ぜるだけで驚くほど水質が悪くなるので「水路にゴミを捨て無いよう気をつけてください。」と伝え「ゴミを捨てると何処かで誰かが拾っていることを忘れないでください」とお願いしました。最後に吉井川農業水利事業所(農林水産省)の職員により、食糧自給率のお話をジュニア農林水産白書2023により説明をして頂き終了しました。



ジュニア農林水産白書2023の説明

